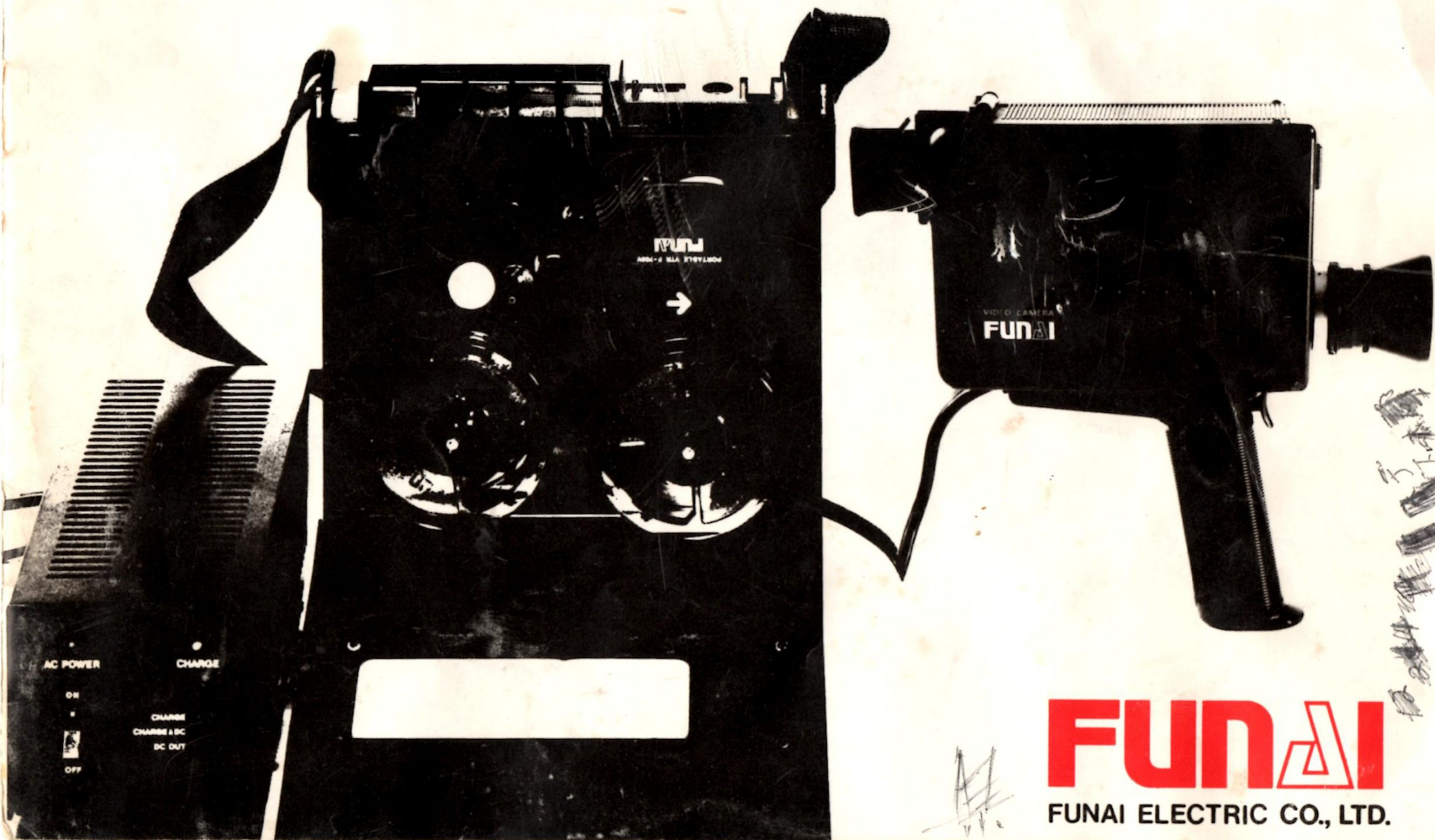
PORTABLE VTR F-703 OPERATING MANUAL 取扱説明書

FUNAI

FUNAI ELECTRIC CO., LTD.

このたびはFUNAIコンパクトビデオをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになりF-703の性能を最大限に発揮させてください。F-703と共にこの取扱説明書も末永くご愛用されることを期待しております。

ご使用の前に下記の点は特にご注意ください。

①テープをかけたりはずしたりする場合は必ず電源スイッチを切り、モーター音が止まってから行なってください。(回転ヘッド破損防止のため)

②カメラのレンズは直射日光および強い光源にはむけぬようご注意下さい。(撮像管の損傷防止のため)

③ビデオレコーダーご使用後は必ず充電してから保管ください。

④ビデオレコーダーの電源スイッチは使いやすいようにプッシュ式になっておりますので、保管の際は"OFF"になっていることをご確認ください。

⑤電源コード・カメラコード・DCコード・RFコンバーターの各コード類の接続及び取りはずしは必ずプラグ部をもって行ってください。

1.録画および再生

※ビデオコーダーの上蓋をあけるときは、左へロックを引きながらあけてください。
閉じるときは自動でロックします。

録画のしかた

①テープをかけてください。(上蓋の内側に手順が図示してあります。)
②カメラコードをビデオレコーダーのカメラジャックにさし込んでください。
③ビデオレコーダーの電源(POWER)スイッチを押してください。
④ビデオレコーダーの赤い録画(REC)ボタンを押してください。
⑤カメラのファインダーをのぞき、レンズのピントを合わせてください。
⑥カメラの赤いシュートレバーを引き録画を始めてください。
(テープ走行が始まります。)
⑦録画が終ったらシュートレバーをもう一度引いてください。
(テープ走行が止まります。)
⑧ビデオレコーダーの停止(STOP)ボタンを押してください。
⑨巻戻し(REW)ボタンを押してください。
⑩停止(STOP)ボタンを押してください。

再生のしかた

⑪再生(PLAY)ボタンを押してください。
⑫カメラのアイフードを持ち上げ、直接ファインダーの映像を見てください。
⑬ファインダーの下にあるスピーカーボリュームを回し、音量を調節してください。(音が出ない場合はシュートレバーを引いてください。)
⑭再生が終ったら停止(STOP)ボタンを押してください。

●詳細については、次ページ以降順を追って説明されております。

2. ビデオレコーダー(F-703V)各部の名称

⑩カメラジャック(CAMERA)
⑪マイクジャック(MIC)
⑫イヤホンジャック(EAR)
⑬トラッキングスイッチ(TRACKING)

⑭ピンチローラー
⑮キャプスタン
⑯スチールボタン(STILL)
⑰アフレコボタン(SOUND DUBBING)

①バッテリーカバー
②共用ジャック(EXT. POWER/MONITOR)
③リール押さえ
④リール台
⑤ヘッドカバー
⑥電源スイッチ(POWER)
⑦バッテリーチェッカー(BATTERY)
⑧テープカウンター(TAPE COUNTER)
⑨カウンターボタン

操作ボタン

⑱録画ボタン(REC)
⑲再生ボタン(PLAY)
⑳停止ボタン(STOP)
㉑早送りボタン(F・FWD)
㉒巻戻しボタン(REW)

3.ビデオレコーダー(F-703V)各部のはたらきと扱いかた

①バッテリーカバー

バッテリーを入れたり、交換したりする時にはこのカバーを取り外して行います。

②共用ジャック(EXT.POWER/MONITOR)

ビデオレコーダーに内蔵されたバッテリー以外を電源として使用する場合に、ACアダプターのDCコードのプラグ、あるいはカーコード(別売)のプラグ、バッテリーボックス(別売)のプラグをこのジャックに接続し、外部電源を取り入れます。その他に、RFコンバーター(別売)のプラグ・モニターコード(別売)のプラグを接続します。

③④リール押さえ・リール台

テープをビデオレコーダーに固定し、正しく走行させるための大切な役目をします。

⑤ヘッドカバー

このカバーの下にビデオ用回転ヘッド、オーディオ用ヘッドなどが内蔵されています。

⑥電源スイッチ(POWER)

ビデオレコーダーに内蔵されたバッテリーを電源として使用する場合のみ〝ON〞にします。共用ジャックを使用し、外部より電源を得る場合は〝OFF〞にします。

⑦バッテリーチェッカー(BATTERY)

バッテリーの残量を示すメーターです。電源(POWER)スイッチを〝ON〞にして針が緑の部分にある間は使用可能ですが、赤の部分に近づいたら使用を止め、至急充電してください。

⑧テープカウンター(TAPE COUNTER)⑨カウンターボタン

カウンターボタンを押すことによりテープカウンターを〝000〞にセットすることが出来ますので、再生時プログラムの位置を見つけるのに便利です。

⑩カメラジャック(CAMERA)

カメラ(F-703C)コードのプラグを接続します。プラグ側の溝をあわせて、十分差し込んでからロッキングナットを右に回して固定します。

⑪マイクジャック(MIC)

録画の際、内蔵マイクロホンでは希望する音が十分に集録できない場合には外部マイク(別売)を使うことができます。(外部マイクについては10ページ参照)

⑫イヤホンジャック(EAR)

録画しながら録音状態をモニターしたい場合はイヤホーン(別売)のプラグを差し込みます。

⑬トラッキングスイッチ(TRACKING)

他のF-703Vで録画済みのテープをかけて再生する時に画面に水平方向のノイズが見える場合はこのスイッチをまわして、ノイズのなくなるようにします。必要のない場合は、時計と反対方向にまわしてスイッチを切ってください。

⑭ピンチローラー

ビデオテープをキャプスタンに圧着するためのローラーです。

⑮キャプスタン

ビデオテープを一定速度で走行させるための駆動軸です。

⑯スチールボタン(STILL)

再生の際、映像を一時的に静止させる時にこのボタンを押します。(スチール画像については11ページ参照)

⑰アフレコボタン(SOUND DUBBING)

録画されたテープの映像を残し、音声だけをふきかえたい場合にこのボタンを使います。(アフレコについては10ページ参照)

操作ボタン

⑱録画ボタン(REC) ⑲再生ボタン(PLAY) ⑳停止ボタン(STOP)
㉑早送りボタン(F・FWD) ㉒巻戻しボタン(REW)

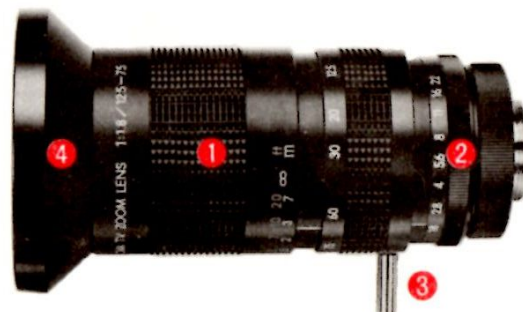
これらの操作ボタンを押しかえることにより思いのままにテープを走行させることができます。
操作ボタンを押しかえる時は必ず停止(STOP)ボタンを押してからでないと次に押したいボタンは押せません。

4. ビデオカメラ(F-703C)各部の名称

①アイフード
②ファインダー
③水平調節つまみ
④録画ランプ
⑤スピーカーボリューム
⑥スピーカー
⑦カメラコード

⑧内蔵マイク
⑨マイクジャック(MIC IN)
⑩標準レンズ
⑪レンズフード
⑫レンズマウント
⑬シュートレバー
⑭グリップ
⑮三脚用ソケット

6倍ズームレンズ(別売)

①焦点リング
②絞りリング
③ズームレバー
④レンズフード

5. ビデオカメラ(F-703C)各部のはたらきと扱いかた

①アイフード
撮影の時はアイフードを通し、ファインダーを見ながらシャープなピントを決めてください。再生時は持ち上げて使います。

②ファインダー
モニタースクリーンとして1.5インチのブラウン管が内蔵されていますので録画中・再生中の映像を見ることができます。

③水平調節つまみ
このボリュームは内蔵ブラウン管の水平同期を調節するものです。完全に調整されておりますので、あまり使うことはありません。

④録画ランプ
録画(REC)ボタンを押し、シュートレバーを引いてテープの走行が始まると、録画が開始され赤く点灯します。

⑤スピーカーボリューム
内蔵スピーカーで再生音を聞く時、このボリュームを右に回せば大きく、左に回せば小さく、音量を調節できます。

⑥スピーカー
このスピーカーで再生音を聞くことができます。1.5インチブラウン管の映像と直径4cmのスピーカーから出る音と合わせ、ミニテレビが楽しめます。

⑦カメラコード
このコードのプラグをビデオレコーダーのカメラ(CAMERA)ジャックに接続します。

⑧内蔵マイク
高感度のコンデンサーマイクが内蔵されています。

⑨マイクジャック(MIC IN)
ビデオレコーダーのマイク(MIC)ジャックと同様に外部マイクのプラグを差し込めます。(外部マイクについては10頁参照)

⑩標準レンズ
ファインダーを見ながらF1.8～F5.6までの絞り調節と、(1m)(3m)(15m～∞)を目安としてのピント調節が楽にできます。

⑪レンズフード

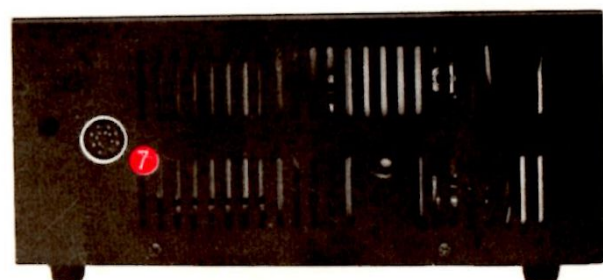
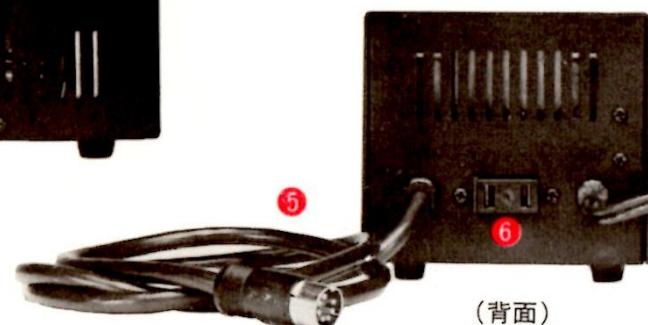
⑫レンズマウント
Cマウント方式なので6倍ズームレンズ(別売)の他に広角や望遠などのレンズ交換が自由に行なえます。

⑬シュートレバー
ビデオレコーダーの録画(REC)ボタンを押し、このレバーを引くとテープが走行し録画・録音がはじまります。もう一度レバーを引くと録画状態のままでテープの走行が停止します。もう一つのはたらきは、内蔵スピーカーで再生音を聞きたくない時はこのレバーを引くと完全に音は止まります。戻すと再度、音も再生されます。

⑭グリップ

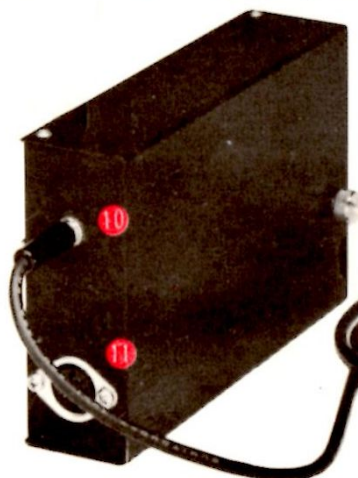
⑮三脚用ソケット
三脚(別売)・ハンドストラップ(別売)を取付けることができます。

6倍ズームレンズ(別売)規格

焦点距離……………12.5mm～75mm
絞り………………………F1.8～22
最近距離………………………1m
フィルターサイズ……………49mm
重量…………………………330g
その他のレンズ、フィルター等については販売店に直接ご相談ください。

（左側面）

（背面）

（正面）

①電源 スイッチ（ON、OFF）
②電源 ランプ（AC POWER）
③充電 ランプ（CHARGE）
④切換 スイッチ（CHARGE/CHARGE & DC/DC OUT）
⑤DCコード
⑥コンセント
⑦コンバータージャック
⑧電源コード

RFコンバーター(別売)およびバッテリーボックス(別売)

RFコンバーター

バッテリーボックス

⑨RFコード
⑩TVジャック
⑪共用ジャック
⑫RFスイッチボックス

7. ACアダプター(F-703A)各部のはたらきと扱いかた

録画や再生を行なう時に、内蔵バッテリーを電源として使用する場合はこのACアダプターを使う必要はありません。家庭用の100V電源を使ったり、 内蔵バッテリーおよびバッテリーボックス(別売)を充電する時に使います。その時は必ずビデオレコーダーの電源(POWER)スイッチは〝OFF/EXT″にします。

①電源スイッチ(ON/OFF)

ACアダプターの電源スイッチです。電源コードを家庭用(100V)のコンセントに差しこみ、〝ON″にすると使用できます。

②電源ランプ(AC POWER)

ACアダプターの電源スイッチを〝ON″にするとこのランプが赤く点灯します。

③充電ランプ(CHARGE)

充電が完了するとこのランプが赤色から緑色に変色します。(切換スイッチが〝CHARGEとCHARGE&DC″の場合に、ビデオレコーダーの電源スイッチが〝ON″になっていると充電が完了していなくても緑色になりますので注意してください。)

④切換スイッチ(CHARGE/CHARGE & DC/DC OUT)

このスイッチを切換えることにより、次のように作動します。

CHARGE ………内蔵バッテリー・バッテリーボックス(別売)を充電する場合。

CHARGE&DC…AC100Vを電源としてビデオレコーダーにDC12Vを供給し、かつ内蔵バッテリーを充電する場合。

DC OUT…………AC100Vを電源としてビデオレコーダーにDC12Vを供給する場合。

⑤DCコード

このコードのプラグをビデオレコーダーおよびバッテリーボックスその他の共用ジャックに差しこみDC12Vの電源を供給します。

⑥コンセント

専用モニターTV(別売)等にAC100Vを供給するコンセントです。

⑦コンバータージャック

RFコンバーター(別売)のプラグを差しこむことができますので、有効な使い方ができます。

⑧電源コード

RFコンバーター(スイッチボックス付)

市販のテレビ(カラーあるいは白黒テレビ)の空チャンネルを使って再生する場合に使います。1ch用と2ch用があります。　ご使用の地域により空チャンネルが異なりますので販売店におたずねください。

バッテリーボックス

このバッテリーボックスは連続2時間使用できる予備バッテリーです。ビデオレコーダーに取付けることができます。充電はACアダプター(F-703A)で簡単にできます。

8. ヘッドについて

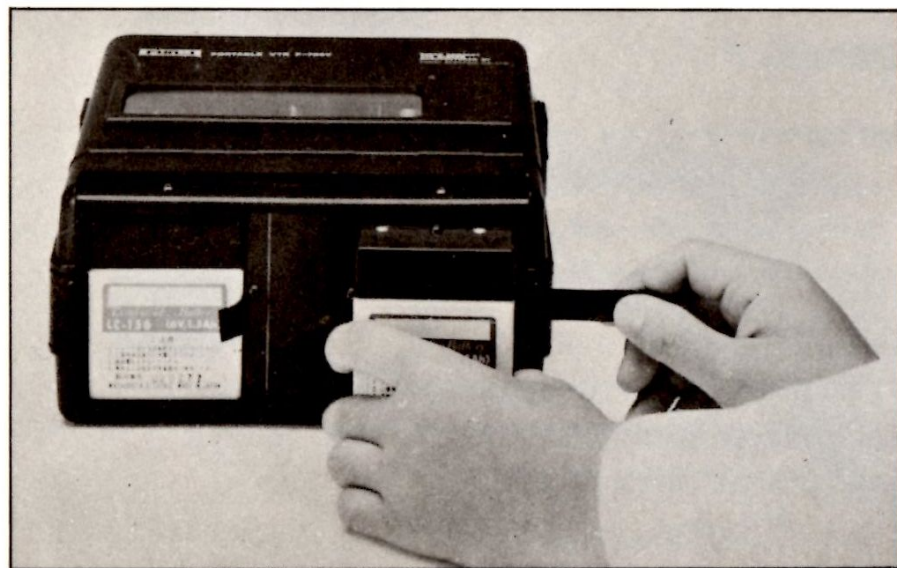
回転ヘッド(録画、再生用のビデオヘッド)と固定ヘッド(フルトラック消去ヘッド、サウンドトラック消去ヘッド、サウンドトラック録再ヘッド)があり、これらのヘッド部はコンパクトビデオの頭脳部にあたるものです。

ヘッドの表面に固いものや尖ったものを近づけたり直接手を触れるようなことは絶対に避けてください。

これらのヘッドの大敵は汚れです。ヘッドの汚れを防ぐために下記のことにご注意ください。

①ゴミやホコリの多い場所での使用をさける。
②ヘッドやテープを指で直接触れないようにする。
③古くなったテープを使用しない。

●ヘッドのクリーニング方法などについては販売店に直接ご相談ください。

9. バッテリーについて

ビデオレコーダーには2個の専用バッテリーが内蔵され連続記録40分可能です。バッテリーは一度使いきってしまうとそれ以後は充電しようとしても、充電されなくなってしまいますのでバッテリーチェッカーの針が緑から赤の部分に近づいたら至急充電すること。また使用後は必ず充電してください。バッテリーは実際使わなくても、自然に放電しますので完全に充電したものでも2ヶ月毎に一度は充電するよう心がけてください。充電に要する時間は約6時間です。

バッテリーの入れかた

ビデオコーダー底面のバッテリーカバーのビスをコインなどで外し、上方へ押しながら蓋を抜き取ります。リボンを下に敷いてバッテリー2個の⊕⊖極をあわせて入れます。(その際、バッテリーのラベルが見えるようにセットします。)蓋を上から差しこむように閉め、ビスでとめてください。

10. テープについて

テープは、専用のFUNAI FA-20VTをお使いください。テープの大敵は、ゴミ・ホコリ・手や指のヨゴレです。大切なヘッドを汚す原因にもなり、正常な録画・再生ができなくなります。テープはビニールに包み、箱に入れて保管してください。

テープのかけかた

テープは、ビデオレコーダーの上蓋の内側に、イラストで示されている通りに、よく確認しながらかけてください。

テープのかけかえを行う場合は、必ずビデオレコーダーの電源を切り、モーター音がやんでからにしてください。

テープの表裏を間違えたり、ねじってかけないように注意してください。

①テープを左側に空リールを右側になるようにリール押さえで固定します。(リール押さえは軽く持ち上げてから、右か左に少し回してはなすだけで固定されます。)

②テープは上蓋のイラストのようにかけます。この時テープの先端をつまんで、空リールのハブに2回～3回まきつけます。(このまきつけかたがゆるすぎると操作ボタンを押した時に空まわりすることがありますのでご注意ください。)

③空リールを指で回してテープのたるみをとってください。

11.録画・録音の楽しみかた

(1)ビデオカメラ(F-703C)を使っての録画

操作手順、接続 扱いかたについては前述してありますので参照してください。下記のようなアクセサリーがありますので、いろいろな楽しみかたができます。

○交換レンズ(別売)およびフィルター(別売)

F-703CのレンズマウントはCマウント方式になっておりますのでいろいろな交換レンズが取付けられ、撮影の楽しさを倍加させることができます。また特殊効果をねらった撮影、非常に明るい場所や光の強いものの撮影にはフィルターがかかせません。

○三脚・一脚(別売)

三脚用ソケットがカメラにはついておりますので一般市販のものならどれでも使えますが、小型のものは倒れやすいためカメラをこわしてしまうことがありますので、脚が細く、雲台の小さいものは使ってはいけません。

○カメラ延長コード(別売)

カメラには1.7mのカメラコードが取付てあります。その他に 3mの接続コードが用意されておりますのでご利用ください。最長10m位までは延長可能です。

○ハンドストラップ(別売)

手に汗をかきビデオカメラを落すことも考えられますので、ハンドストラップを手首にかけ撮影してください。

○外部マイク(別売)

カメラにはマイクが内蔵されておりますが、カメラのマイクジャックとビデオレコーダーのマイクジャックを利用し、外部マイクを使うことができます。マイクは600Ωミニプラグを使ってください。

マイクジャックは同時に2ヶ所で使えません。ビデオレコーダーのマイクジャックが優先します。外部マイクを使った場合、内蔵マイクははたらきません。

(2)アフレコのしかた

録画済のテープの映像を残し、音声だけをふきかえ(サウンドダビングともいう)たい時は次のようにします。

①マイクは外部マイクか、ビデオカメラの内蔵マイクを使います。

②アフレコ(SOUND DUBBING)ボタンを押したまま、再生(PLAY)ボタンを押し、再生状態にします。

スチール(STILL)ボタンをポーズボタンとしても使うことができます。

③再生された映像を見ながら、音声をふきこみます。

内蔵マイクを使う場合はシュートレバーを引くと録音がはじまります。
マイクを接続しないで、あるいは内蔵マイクを使う場合シュートレバーを引かないで、アフレコボタンを押したままで再生状態にするとレコーディング済の音声がすべて消去されるのでご注意してください。

(3)TV番組の記録と他のVTRからの記録(ダビング)

市販の"VTR"専用モニターTVからの番組記録、他のVTRからの記録(ダビング)はダビングボックス(別売)およびモニターコード(別売)等で簡単に録画・再生できます。
(ビデオで録画したものは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。)

12.再生の楽しみかた

(1)ビデオカメラ(F-703C)を使っての再生

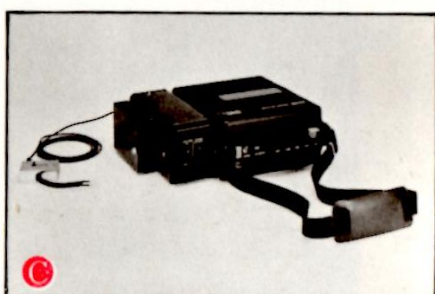
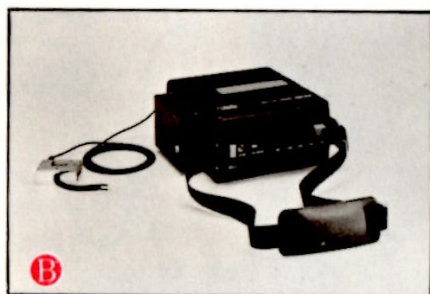
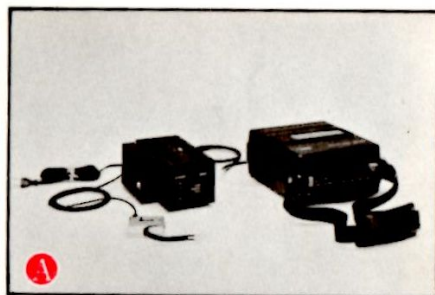
操作手順、接続扱いかたについては前述してありますので参照してください。

(2)RFコンバーター使っての再生

RFコンバーターは写真のように3つの取付方法がありますので状況に合わせてご利用ください。

Ⓐ

Ⓑ

Ⓒ

①RFコンバーター(別売)のプラグをACアダプターのコンバータージャック(写真Ⓐ)、あるいはビデオレコーダーの共用ジャック(写真Ⓑ)、バッテリーボックスの共用ジャック(写真Ⓒ)のいずれかに差しこみネジを回して固定します。

②市販テレビのアンテナ線をはずしてRFコンバーター付属のスイッチボックスの300Ω端子あるいは75Ω端子に接続します。スイッチボックスのフィーダー線をテレビ側のフィーダー接続端子へつなぎます。コンバーターコードのピンプラグをスイッチボックスRFC端子に接続し、①で取付済のRFコンバーターのTVジャックにコンバーターコードのミニプラグを差し込みます。

③接続が終ったら、スイッチボックスの切換が"VTR"になっているかを確かめます。

テレビ側に300Ωと75Ωの切換スイッチがある場合は300Ωにしてください。RFコンバーターのスイッチボックスはTVに接続したままで、再生の場合は切替スイッチを"VTR"に、一般のTV放送を見る時は"ANT"に切替えて使うと便利です。

④市販テレビの電源を入れてチャンネルをRFコンバーター専用の空チャンネルに切替えます。

⑤録画済のテープをかけビデオ電源のスイッチを入れます。

⑥再生(PLAY)ボタンを押すと再生が始まります。

⑦最良の映像と音声が得られるようにテレビの各つまみを調節します。

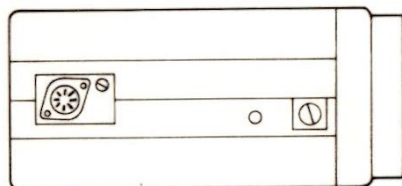
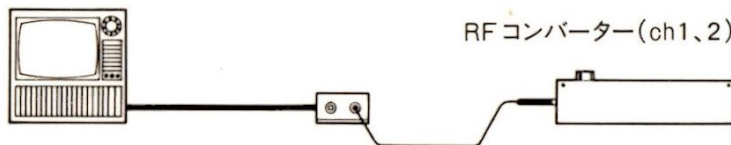
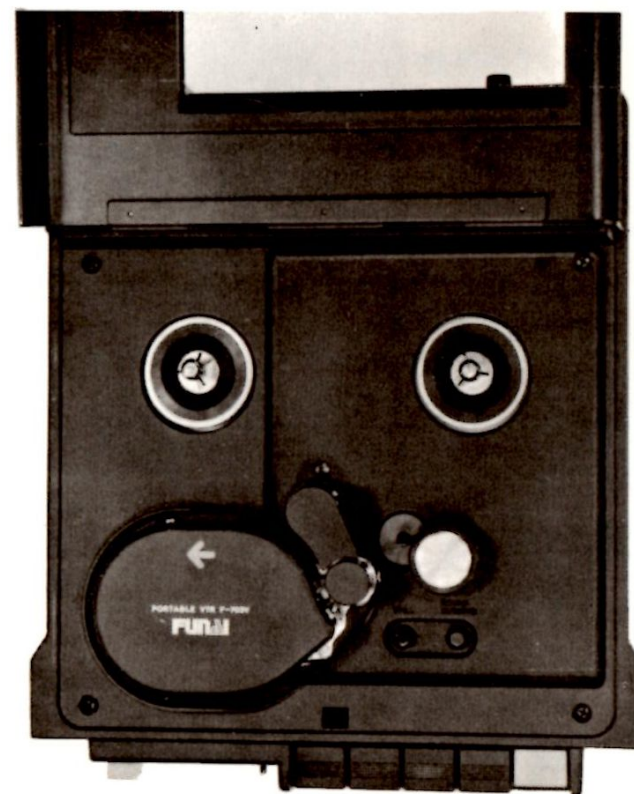
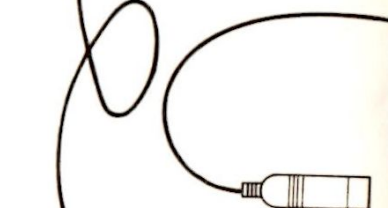
チューニング、コントラスト、ブライト等の調節です。

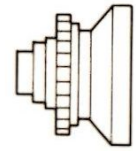
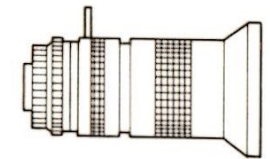
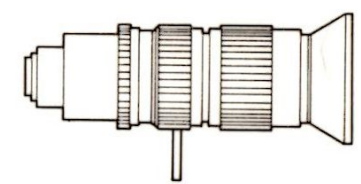
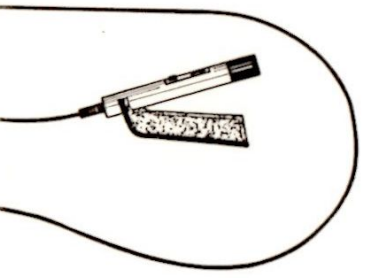
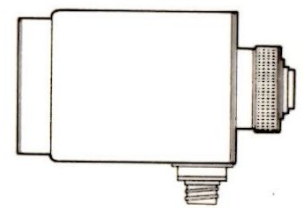
⑧再生が終了したら停止(STOP)ボタンを押します。

市販のカラーテレビを使って再生する場合でも映像は白黒で再生されます。

(3)静止画像のみかた

再生中に映像を決定的瞬間で一時的に静止させたい場合は再生(PLAY)状態のままでスチール(STILL)ボタンを押します。この時画像の上下約半分がブレる場合は左右のリールに手をあててテープをわずかに移動させると直ります。静止を解除する時は、スチールボタンをもう一度押すともとにもどり再生(PLAY)になります。

13.F-703 活用システムについて

F-703V

●写真表示のものは標準セットに組みこまれています。
イラストレーション表示のものは別売アクセサリーです。
●別売アクセサリーについては直接販売店にお問合せください。

F-703C
VIDEO CAMERA
F-703C
FUNAI
マイク
広角レンズ
標準レンズ
6倍ズームレンズ
望遠レンズ
その他特種レンズ
各種のフィルター
1.7m
ハンドストラップ
三脚

規格

ビデオレコーダー〈F-703V〉

項目	仕様
信号方式	日米標準TV方式
録画方式	回転2ヘッド周波数変調方式
録画時間	20分(210m)
テープ速度	16.65cm/秒
テープ幅	1/4インチ(6.25mm)
解像度	200本以上
映像S/N比	40dB以上
REW/F・FWD時間	3分以下
音声f特性	150～7kHz　(±3dB)
バッテリー	充電式6Vバッテリー(2個)
連続使用時間	40分以上
電源	DC12V(3電源方式)
消費電力	15W(カメラ含む)
寸法	213(巾)×254(奥行)×105(高)mm
重量	4.3kg(バッテリー、テープ含む)

ビデオカメラ〈F-703C〉

項目	仕様
撮像管	2/3インチ静電集束電磁偏向型ビジコン
レンズマウント	Cマウント
水平解像度	400本以上(中心部)
映像S/N比	42dB以上
音声出力	0.1Vr.m.s.
自動感度調整	30～100.000Lux
ビューファインダー	1.5インチブラウン管内蔵
内蔵マイク	コンデンサーマイク
内蔵スピーカー	4cmφ
レンズ	標準16mm F1.8(交換可能)
絞り	F1.8～5.6
焦点(フォーカス)	1m( ) 3m( ) 15m( )
録画表示	ファインダー内にLED表示
電源	DC12V(F-703Vより供給)
消費電力	5W
寸法	60(巾)×162(奥行)×120(高)mm
重量	1.5kg(標準レンズ含む)

ACアダプター〈F-703A〉

項目	仕様
電源電圧	AC100V　50/60Hz
出力電圧	DC12V
切換スイッチ	DC OUT/DC&CHARGE/CHARGE
充電時間	内蔵バッテリー(6時間) 外部バッテリー(18時間)
寸法	100(巾)×200(奥行)×90(高)mm
重量	3kg

付属品

3号ビデオテープ×1
3号空リール×1
バッテリー×2
ショルダーバンド×1
レンズフード×1
鹿皮×1
取扱説明書

※規格、外観等は改善のため、予告なしに変更することがあります。